

山本 アグリ JOURNAL

2025年12月号



山本商事株式会社

本社：会津若松市インター西 29 番地

〒965-0059 TEL (0242) 24-4561 (代) FAX (0242) 25-0956

営業所：郡山市喜久田町卸一丁目 14 番地1

〒963-8681 TEL (024) 959-6631 (代) FAX (024) 959-6634

No. 3 0 8

福島県内における最近の病害虫防除と対策

【タバココナジラミが媒介するトマト黄化葉巻病（TYLCV）】

- タバココナジラミ
 - ・ 成虫の体長は 0.8 mm 程度、体色は淡黄色で白色の羽をもつ
 - ・ オンシツコナジラミと比較するとやや小型で体色が濃い
 - ・ 幼虫は長さ 0.8～1.0 mm で全体が淡黄色、毛（分泌突起）が少なく、楕円形で背面がやや隆起する
 - ・ 野外越冬はできないが、約 1 ヶ月は野外で生存可能
- TYLCV の感染が報告されている植物
 - ・ 感染及び発病する植物
作物…トマト、ミニトマト、トルコギキョウ、リンドウ
 - ・ 感染のみ（無病徴）
作物…ピーマン、ジャガイモ、インゲン、ペチュニア、ポインセチア、ヒャクニチソウ、
チョウセンアサガオ
雑草…ハコベ、ウシハコベ、タカサブロウ、ノゲシ、ノボロギク、センナリホウズキ、ホソバ
ツルノゲイトウ、エノキグサ、ベニバナボロギク、ウサギアオイ、イヌホウズキほか
- トマト黄化葉巻病の対策
 - (1) 育苗・定植期の侵入・感染防止（入れない）
 - ・ ウイルス感染・タバココナジラミの寄生がないことを確認
 - ・ 成虫の侵入防止
施設開口部に 0.4 mm 目合いの防虫ネットを展張
反射資材、UV カットフィルムの活用
 - (2) 定植後の感染拡大防止（増やさない）
 - ・ 発病株を発見したらすぐに抜き取り、土中に埋める
 - ・ タバココナジラミへの薬剤散布
薬剤抵抗性の発達しにくい気門封鎖剤・糸状菌製剤を活用
 - ・ 黄色粘着板・テープによる成虫の捕殺
 - (3) 栽培終了後の蒸し込み・残渣処理（出さない）
 - (4) 施設内外の雑草や野良生えトマトの管理

【ハスモンヨトウ】

● ハスモンヨトウ

- ・卵は雌成虫の鱗毛で覆われた状態で、葉裏に卵塊で産み付けられる
- ・ふ化後2齢くらいまでは群棲して摂食する習性があるため、葉の表皮を残して白色のカスリ状に食害する。食べ尽くすと隣の葉に移動する。
- ・中齢以降分散し、加害量が多くなる
- ・6齢幼虫は、体長4cm程度になり、土中で蛹になる
- ・幼虫は広食性
野菜類、いも類、豆類、花き類、果樹、雑草を食べる
- ・露地での越冬可能場所は、関東以南の温暖地
休眠性はなく、耐寒性は低い。施設内であれば、東北でも越冬可能。
成虫が、台風などに伴い長距離飛来。
- ・西日本での年間世代数：4～6回 福島：2回
25℃条件で、1世代39日（卵4日、幼虫19日、蛹14日、羽化後産卵まで2日）

● 防除対策（耕種的防除法）

- ・卵塊や若齢幼虫の集団は、見つけ次第、捕殺する
- ・施設栽培の場合は、開放部（サイド、天窓、出入り口など）に4mm目合いのネットを張り、成虫の侵入・産卵防止に有効（ネットに産み付けられた卵塊により、ふ化幼虫が侵入する場合もある）

● 防除対策（化学的防除法）

- ・若齢幼虫のうちに、薬剤散布
- ・幼虫は葉裏や株元にいることが多いので、薬剤を丁寧に散布
- ・イチゴでは、BT剤の効果が他の作物より低くなるので注意

【水稻病害 紋枯病】

● 伝染経路

前作での菌核が、夏から秋にかけて地上に落ち、地中で越冬し、田植え前の代かきで水面に浮かび上がる。分けつ期に、株元に菌核が付着し、稲の生長と共に菌核は発芽して、葉しょうに病斑をつくり、しだいに上へ進展する。菌糸でとなりの茎へもひろがる。病斑上に菌核をつくる。

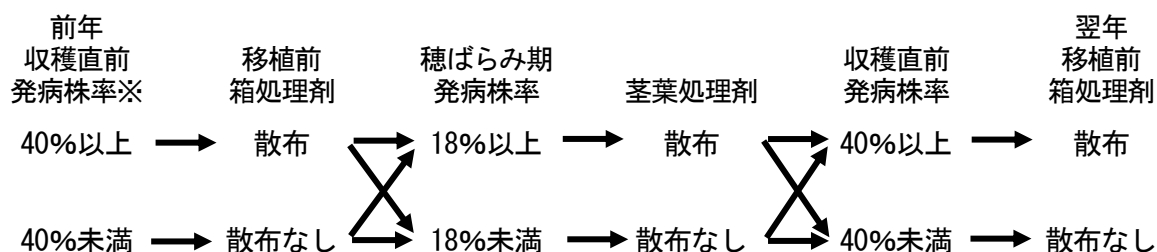
● 紋枯病の対策（耕種的防除）

- ・窒素肥料は適量で
- ・密植や、過繁茂となる管理を避ける
- ・発生ほ場の機械作業を後回しにする

● 紋枯病の対策（薬剤防除）

減収率5%以下に抑える場合

※畦畔や水尻側の株を調査



（福島県農業総合センター作物保護科「最近の病害虫防除・管理の研究と今後の研究の方向」参照）

山本商事株式会社 技師 谷津 勝司